

五島市中総体駅伝競走大会

未来への軌跡

志を持ち、未来を創ろう！ 気付き、考え、動く翁中生！

翁頭中学校だより
10月19日 第12号
文責 校長 山下



10月5日（水）、前日の雨で心配されましたが、絶好の駅伝日和のもと、五島市中総体駅伝競走大会が中央公園陸上競技場周回コースで開催されました。3年ぶりに駅伝競走、ロードレースの順に実施され、本校生徒23名が選手として参加しました。駅伝競走大会には、男女それぞれ2チームが参加し、翁頭中学校としての正式結果は、女子3位、男子5位という成績でした。県大会出場という目標は果たせませんでした。一人の懸命な走りから多くの感動をもらいました。また、女子4区の野原結愛さんは1年生ながら区間賞を獲得しました。夏の過酷な練習から始まり、厳しい練習にも耐えて最後まで頑張った選手を誇りに思います。

応援生徒も頑張りました。今年も大きな声での応援自粛となったため、大きな拍手での応援が中心でした。3年生を中心にいくつかのパターンをつくり、練習から本番まで1・2年生を引っ張りながら一生懸命に選手を応援していました。

選手及びマネージャー、応援生徒、指導してくださった先生方、応援していただいた保護者や地域の方々など、駅伝に関わっていたいただいた全ての人に感謝申し上げます。ありがとうございました。



読解力育成に力を入れます！

本校では、今年度から県教育委員会の指定を受け、「読解力の育成を目的とした教科等の研究」を行っています。本校生徒の実態として、4月に実施された全国・県学力調査において、全国及び県の平均を下回っている生徒が多い状況があります。その主な要因の一つに読解力不足があります。例えば、問題文の意味をきちんと理解していないかったり、図や表を正確に読み取ることができていなかったりするといいことです。

本校が定義している「読解力」とは、「教科等の枠を越えて、各教科の土台となる能力」のことで、

- ① 文章を正確に理解できる。
- ② 相手の伝えたいことがわかる。
- ③ 文章と表、グラフ等の関係を捉えることができる。

とされています。このような力を身に付けさせることで、読解力が高まり、学力向上につながると考えています。現在、読解力育成のために、まずは、学習に取り組む姿勢である学習規律の徹底が重要と考え、子どもたちとともに取り組んでいます。

- 次のような内容です。
- 準備…2分前着席・準備、30秒前黙想挨拶…先語後礼を意識して、元氣よく挨拶をする
 - 返事…指名されたら「はい」とはっきり返事を立て立つ
 - 挙手…手をまっすぐあげる
 - 発表…みんなに伝わるよう、語尾まではっきり言う
 - 傾聴…話をしている人の方を体ごと向いてしっかり話を聴く

10月

- 18日:心を磨く強調日
- 21日:実行部会
- 22日:バレーボール秋季大会・ソフトテニス秋季大会
- 24日:生徒会の日
- 25日:生徒集会
- 27日:学習発表会 進路説明会

部活動 各種大会結果

- 五島市民体育大会陸上競技
- ・中3男子3000m1位 新木貴太
- ・中1女子1000m1位 黒川愛唯
- 五島市中学校柔道競技新人大会
- ・男子55kg級優勝 大野瑛太
- ・男子50kg級2位 亀山陽向
- 男子50kg級3位 有川草汰 志内克也

【ロボコンの思い出】

先日、創造アイデアロボコンテスト五島市中学生大会が福江中学校体育館で開催された。本校生徒も参加させたかったのだが、私に余裕がなく、今年度は参加を見合わせた。以前、本校に勤めていた時、ロボコンで九州大会に出場したことがある。その予選の県大会は、所用で私が引率できず、他の学校の先生にお願いして参加した。何と県大会を勝ち進み、3位で九州大会出場権を獲得した。監督がいなかったため、自分で主体的に考え、動くことができたことが勝因だろう。